

天地

ネットワーク テーブル 447号

発行：天地シニアネットワーク：2017・4・28

T E N T I T O D A Y			1
会員の広場	<大磯の旧吉田茂邸><北城書社展><苦言><般若心経> <おすすめ本><吉野の桜見物><動画><浅草・東洋館>		2
連載作品			4
講演録	『M.K ガンジー』(2)	佐川 雄一	4
随 想	天のわざ、地のほまれ—地球を測れ、宇宙をはかれ— 24. 役に立つ微分法と積分法—その4	伊那 闊歩	10
旅行記	そうだ京へ行こう・古刹の花物語(21) <洛中の洛外1・吉野と南北朝(その2)>	大竹 漠洲	16
解 説	般若心経読本(8)	藤田 克明	19
講演会	「奈良興福寺文化講座」「新三木会」「すどう美術館」		21
事務局			22

T E N T I T O D A Y

たまには映画をと思い立ち、日比谷でインド映画「ライオン」を見ました。ストーリーは、インドの北部、家族の生活のたしにと、危険を顧みずに石炭を運ぶ列車に飛び乗り、わずかな石炭をかすめとる少年が、居眠りをしている内に数千キロ離れた土地まで運ばれてしまい、言葉が通じないために孤児院に収容されてしまう。オーストラリア人夫婦の養子となり、大学出のエリートとなるが、故郷がインドの何処か全く思い出せない。貧しい母親、兄弟への思いはつのる一方、グーグルで必死に検索し、山間の小さな町に故郷の姿を見つけ、家族に辿りつくというもの。

従来であれば、全く不可能だったことが、現代では可能となる。科学技術の進歩が、現代に希望を与える、しかし悪用されると不幸になると、警鐘を鳴らしているようにも感じました。

ネットのニュースに、「核シェルターに注文殺到」とありました。施工で年数件ですから、数十件の問い合わせでも<殺到>になるのでしょうか、“お騒がせ”の気がします。先日は、TVのニュースで{当地にミサイルが着弾します}という誤った警報を流した自治体のことが報じられていました。

手際の良さにビックリです。

どこもかしこも工事だらけです。近くの店に昼食に行くと、今まで見なか

った工事関係者を多く見かけます。ある日の昼食時、中小企業の若いサラリーマン、一番安い、納豆定食、高齢者は刺身定食、工事関係者は、から揚げに、刺身に、納豆。

お腹もすくでしょうが、景気の良さがうかがえます。

会員の広場

今日は。4月22日、大磯の旧吉田茂邸を参観してきました。この4月から邸宅の内部が公開されたのですが周りの日本庭園とあいまって実に素晴らしいものでした。ご覧になっていないようでしたらお勧めしたいと思いご案内します。(高貝忠宏)

＜北城書社展＞：5月10日(水)～15日(月)：10時～5時(最終日3時)
於：上野の森美術館

出展してあります。(丸山誉夫(與言))

＜苦言＞

・日刊新聞；日経と朝日購読しているが 最近ページがやたらに多くしかも一枚一枚の紙質が極端に悪くなり、うすくなり、ペラペラで手から滑ったりで読むうえでものすごく不便。やたらに宣伝広告のページが増えている。企業などが新聞社に過度に踊らされているように思える。

・これまた新聞等のメディアなどに目立つがやたらに分けのわからぬカタカナの4字文字がめだつ。オリパラ、ブラサカ、プレゼン(これなどはまだましなほう)、ブレストなどなど。

・NHK；このところばかりに自社番組のコマーシャル(?)が多い。宣伝にまで視聴料を払っているつもりはない。

・民間TV コマーシャル；都度都度放送中の番組を中断してコマーシャルを入れ込むのではなく、画面の横、あるいは縦の一部を活用しコマーシャルするようにしたらどうでしょうか？中断してコマーシャルが多い番組は観る気が失せる。しゃくに触って切ってしまうことが多い。

・ゴルフ中継；スポーツの実況中継は好きな番組の一つ。しかし残念ながら最近プレー終了後に編纂された番組が多い。コマーシャルを入れ込むのに便利なのかな？ぜひ実況放送主体として欲しい

・新聞、ラヂオなどの宣伝文句；DNA がキュレーション問題で大変問題を起こしたが、新聞などに宣伝されている雑誌、書物にも怪しい内容のものがずいぶんあるように感じる。これらも発行新聞社などはしっかり検閲してしかるべきなり。(大須賀四郎 79歳)

いつもありがとうございます。般若心経のエッセイがいつも楽しみです。文化学園の興福寺講座にも行きたいのですが、いつもタイミングが悪く、今

度こそはと思っています。(石川)

<おすすめ本>

天地 446 号ありがとうございました。

佐藤愛子の「九十歳。何がめでたい」(小学館)を読みました。往年の切れ味はありませんでした。

吉村作治の「イスラム教徒の頭の中」(CCCメディアハウス)はおすすめです。(林英一)

446号お送り戴きありがとうございました。

吉野の桜見物の記事は、私も一昨年行った事もあって大変興味深く読ませて戴きました。また、ガンジーのお話も今まで知らなかった彼の歴史が分かり、楽しく読みました。続きが楽しみです。(榎並佐知子)

<動画>

皆さんお元気ですか？ サクラの開花宣言から随分と気候の変化により日本中で長く桜が楽しめたのは、嬉しい事？でした。

近くでしたが、国立市の大学通りの桜並木も見られたので楽しめました。

菩提寺の「梅岩寺」の枝垂れ桜の満開にも間に合いましたので、送らせて頂きます。

1) サクラと甘茶で「花祭り」(4月8日)

<https://youtu.be/HULwpUY1Jbo>

2) 国立市大学通りの桜並木(4月10日)

<https://youtu.be/uJjAavR0iAM>

yaku5151 (小泉)

ビート・たけしなどが出て、若手芸人の登竜門として古くから知られている浅草・東洋館。先日、近くの新聞販売店から久しぶりに招待券を貰いましたので夫婦で出かけました。TV番組では、「笑点」が一番というくらいですから、機会あるごとに申し込みますが、なかなか抽選にあたりません。新聞をとる人が少なくなっている中ですし、まじめな読者が多いと言われる新聞なので、希望者はそんなにいないはず、といつも不思議に思っていました。

11時半開場でしたので、30分ほど前に行きましたが、招待券者のコーナーは、大勢の行列。いろいろな新聞社から、招待券をもらっている。当日券(@2500円)を買って入る人もいたようでしたが、大半は招待券入場者でほぼ満席。芸人も若手が少なくこの世界も高齢化が進んでいる様子でしたが、招待券入場者は大人しく、拍手もまばら。その上追っかけもいないので“おひねり”も飛ばず盛り上がり欠ける。演ずる方もあれでは遣り難いだろうと、同情しながら帰ってきました。

それにしても、浅草に外国人、特に団体の外国人が多いのに驚きました。

(津田)

連載作品

いつも大変お世話になっています。

先月お知らせしました ガンジーについての資料（『M.K. ガンジー』差別の撤廃と独立運動に捧げた生涯、ガンジーの残した遺産は何か）をお送りします。2月外国人記者クラブ（有楽町電気ビル）、3月日比谷図書文化館で話した内容に若干補筆したものです。コメントがありましたらお知らせください。（佐川雄一）

『M.K. ガンジー』（2）

―差別の撤廃と独立運動に捧げた生涯、 ガンジーが残した遺産は何か―

佐川雄一

4. インドにおけるガンジーの活動（1915-1948）

インドに帰国したガンジーは既に 46 歳になっていたが、南アフリカでインド人居留民の人権保護のために戦い続けた情熱と行動力は既にインド中に鳴り響いていた。インドに帰国してから暗殺されるまでの 33 年間、ガンジーは平等なインド社会の創造と英国からの完全独立を目指し全身全霊で戦い続ける。平等なインド社会の創造とは、具体的には、不可触民（ダリット または ハリジャン）に対する差別撤廃、ヒンドウ教徒とイスラム教徒の宥和、そしてインド社会の大半を占める農民層の貧困救済であった。他方、英国からの完全独立運動は、英国植民地体制に対する闘争であり、リスクを伴う挑戦であった。通常、独立運動というと武力を伴う戦いを連想するが、**なぜ ガンジーは“非暴力”を前面に出して戦ったのか。**そこにはガンジー個人の人生哲学と歴史からの学習が指摘できる。一つは、家庭、学校、社会、政治、外交交渉において、暴力を徹底排除するガンジーの妥協を許さない人生哲学が、大衆運動に大きく影響を与えたことである。南アフリカでの成功体験もあり、ガンジーの非暴力主義はインドの政治リーダーに加え、大衆からも幅広く支持されたのである。もう一つは、インドが大英帝国に武力で立ち向かう無力感を歴史から学んでいたことである。19 世紀中葉、インド大反乱（セポイの乱、1856 - 1858 年）と呼ばれる武力による反英運動が起こった。インド北部の広域に反乱が広がるが、インド側の脆弱な組織体制の下、国内勢力を反英でまとめられず、間もなく英国本土から搬送されてきた近代兵器に、反乱軍は壊滅的な打撃を受ける。しかし、“インド大反乱”は大英帝国を震撼させ、これが契機になって、英国政府は、インド亜大陸の統治を東インド会社から引き継ぎ、名実ともに英国政府の直轄下に置く。このような背景もあって、インド社会は、武力による独立運動を断念し、大英帝国の枠内での自治権の拡充を目指すことになったのである。

英国からの自治権拡大運動は、南アから帰国（1915年）したガンジーの登場で拍車がかかる。英国の統治能力を高く評価するガンジー、そして後継者：ネルーの行動の原点は反英ではなく、彼らが目指したのは大英帝国のなかでのインド人・インド社会の尊厳（自治）の確保であった。しかし、英国政府の度重なる約束の反古・インド人軽視政策、そして大英帝国におけるインドの重要度（The Jewel in the Crown of the British Empire, 資源・人口・歳入）に鑑み、英国政府がインドを手放す可能性が低いと悟ったガンジーは、1920年代後半から自治（Home Rule）ではなく完全独立を求めるようになる。

ガンジーが起こした代表的な対英非暴力・非協力・非服従運動のなかで特記すべき大衆運動として、インド民族運動弾圧法（ローラット法、1919年施行）に対する徹底抗戦、塩の行進運動（1930年）、「インドから去れ」運動（The Quit India Movement, 1942年）が挙げられる。これらのイベントについて補足説明をしておきたい。

4・1. インド民族運動弾圧法（ローラット法）の制定に対する全国的な抗議運動（Rowlatt Act 1919年）

ローラット法とは、1919年、自治・独立を目指すインド国民会議派の運動を抑えるために、英国政府がインドで制定した、緊急刑事特別法。逮捕なしに逮捕し、裁判なしに投獄できる権限をインド総督に与えたもので、インド人にとっては屈辱的な法律。第一次世界大戦が始まると、英国政府は戦後の自治拡大を匂わす発言を繰り返し、この言葉を信じてインド社会は多数のインド人兵士をヨーロッパの戦場に送り出した。戦後、英国政府は態度を豹変、自治の拡大を政治の場から消滅させる。この動きにインド人は激怒、インド社会の過激な反応を恐れた英国政府はローラット法を制定して対抗した。しかし、この法案が現実に運用されることはなかった。

4・2. 塩の行進（The Salt Satyagraha, 1930年）

インドでは“塩”の製造・販売を国家が独占（専売制度）、高税率を課し、歳入源にしていた。他方、インド人にとって“塩”は生活必需品である上に、海岸地域であればどこでも容易に製造できるので、なにゆえ、専売制度の下で、高い価格の塩を購入しなければならないのか、インドの大衆の間に不満がうっ積していた。ガンジーは塩の製造・販売を独占する英国植民地体制に抗議、敢えて法を犯して製塩をするために、グジャラート州アフマダーバードから同州南部ダーンディー海岸までの約 380km を行進する抗議行動を行った。この運動が契機になって、インド各地で“塩”の行進が起こり、塩の製造・販売が始まった。なぜ法を犯してまで“塩”の製造に着手したのか！ガンジーには以下のような論理があった。悪法を犯し、犯したことを認め、刑に服する。その刑に服する人の多さ、論理の異常さによって、人々はその法が悪法であることを理解する、というものであった。英国の指導体制は、徐々に弱体化していくことになる。

4・3. 「インドを去れ」運動（The Quit India Movement, 1942年）

1941 年 12 月、太平洋戦争が勃発すると、戦火がインドに及ぶリスクが高まるが、1942 年 8 月、混沌とした情勢のなかで、ガンジーが“インドからの栄誉ある撤退”を英国に求めた運動。「インドを去れ」運動は、戦争需要に沸く産業界から歓迎されず、マイノリティのイスラム教徒は戦後の英国政府からの報復を恐れてガンジーの動きに賛同せず、全国的な反英運動につながらなかった。

1945 年 8 月、英米他連合国は戦いに勝利するが、皮肉なことに英国の財政は疲弊し、インドをこれ以上植民地として維持することは不可能な状態に陥った。事態を重くみた英国のアトリー首相はインド亜大陸の即時独立を閣議決定。インド総督がインド側リーダーと交渉した結果、イスラム教徒の多いインド亜大陸の西北部（現在のパキスタン）と東北部（現在のバングラデッシュ）をパキスタン、中央部をインドに分断して、二つの国（インド、パキスタン）が独立することで決着。1947 年 8 月 インド・パキスタンが誕生。

インド・パキスタンの独立に深くかかわった当事者は、ルイス・マウントバッテン卿（最後のインド総督、1947 年～ 1948 年）、ガンジー、J. ネルー（インドの初代首相）、アリ・ジンナー（パキスタン初代大統領）の四人である。

5. なぜ ガンジーは偉人・聖人と崇められるのか

ここで、ガンジーがなぜ偉人・聖人と崇められるのか、彼の思想・行動を辿ってみたい。

ガンジーは、生涯にわたり、「真実探究」の道を進み、「自己の完成 (self-realization)」、「神にまみえること (to see God fact to face)」、「人間解脱 (to attain Moksha – Salvation)」を求め、神にまみえる自己の完成を目指した。

ガンジーは、職業政治家ではなかったが、目標に向かって進む時、理念を描き、関係者との間で大筋の合意形成に努め、問題の解決に導く道筋を見出し、時には“断食”を断行、目標達成に挑戦した。ガンジーは非暴力・非協力の旗印のもとに人生のすべてをインド人とインド社会のために捧げ、1947 年 8 月大英帝国からの完全独立を勝ち得た。しかし、イスラム教徒との宥和を説くガンジーの考えに危機感を抱いたヒンドゥ狂信主義者に襲われ、ガンジーは 78 歳の人生に幕を閉じる。凶事は、1948 年 1 月 30 日の夕暮、ガンジーが宿泊するニューデリーのビルラ家の内庭で起こった。

リーダーとしてのガンジーの特異性は、宗教、カースト、マイノリティ、性、人種、階層、国籍を区別することなく、国内外すべての人を対等に扱い、彼らの勝れた点から学んだことであった。インドの貧困の象徴である農村を度々訪ね、彼らと語り合い、寝食を共にする、また、勝れた人物・書籍に巡り合った時、純粋に感動し、そして彼らから真摯に学んだ。ガンジーが生涯にわたり最も感銘を受けた書籍を挙げれば、トルストイの「神の国は汝のなかにあり」とラスキンの「この最後の者にも」である。第二次世界大戦後、

アングロサクソン社会では政財界トップの資格要件に、Integrity, Courage, Honesty を求める声が高まるが、ガンジーはこれらの社会的徳性をそれ以前に備えていたのである。また、ガンジーは“目的”のみならず、“プロセス”（fair play）を重視、英国・インド政府責任者との交渉においても表裏なく接し、個人攻撃は控えた。“プロセス”（fair play）を重視するがゆえに、リーダーが陥りやすい“公私混同”“私利私欲”に与する行為を徹底排除した。ガンジーが南アフリカ・インドで活躍した時期に、複数の英国人・アメリカ人がガンジーと長期間寝食を共にしているが、これはガンジーの姿に西洋人が抱く理想の人間像を感じ取ったためではないかと考える。公民権運動に生涯を捧げたマーチン・ルーサー・キング牧師、ネルソン・マンデラも、活動の原点をガンジーの信条・行動規範に求めている。喜劇王：チャップリンの名映画『モダン・タイムズ』はガンジーとの対話から生まれた。

ここで、ガンジー率いる大衆運動の成功の一端は、英国の植民地体制の在り方に負うところもあったのではないかと考え、英国の立場に立った視点で私見を述べておきたい。

地球の陸地面積：25% が大英帝国の支配下にあったことを考慮すると、被支配者の意見に耳を傾ける倫理観が、大英帝国にあったのではないかと。戦後の数字になるが、インドと英国の人口を 1955 年度で比較すると、インド 409 百万人・、英国 51 百万人となる。独立前のインド亜大陸にはパキスタン・バングラデシュが含まれていたためインド亜大陸の人口はさらに膨れ上がる。他にアジア・アフリカに膨大な植民地を持つ英国は、武力に頼らず、現地社会に理解される法の整備と道徳的な倫理観の充実に努めたことは容易に想像できる。その意味で、ガンジーが指導した南アフリカ・インドの公民権運動は、植民地体制側に根づいた“法の整備”と“道徳的な倫理観”の下支えがあったがゆえに成功したとも解釈できる。オランダ領インドネシア、ベルギー領コンゴで同様の運動を起こしたとしたら、成功に導くことができたのか、疑問を感じる。

それでは、ガンジーはなぜ 聖人と崇められるのだろうか。ガンジーは、英国の知識階層・宣教師から何度もキリスト教への改宗を奨められた。しかし、ヒンドゥ教を放棄することはなかった。人間だけが魂をもっており、他の生きものには魂がない、とする人間至上主義の思想をキリスト教は信者に説くが、ガンジーはこの考えに賛同することはできなかった。人間も他の生き物も同等であるとするヒンドゥ教の考えに、より強く共鳴していた。それゆえに、ガンジーは、英国留学以降、動物・魚の肉そして卵には一切手をつけず、菜食主義を貫いた。同様に、すべての人々を対等に扱い、謙虚に学んだ。地位を利用しての私利私欲の蓄積・高価な贈り物の受容に与することもなかった。また、差別・貧困の撲滅に挑戦したガンジーは、大衆と寝食をともにし、贅沢・華美を控えた。さらに、南ア滞在時、肉体的な禁欲を宣言し、以後、自己抑制に徹した。一般人には、難行であるが、ガンジーはこの難事業に挑み、克服している。“聖人”と呼ばれる所以は、この辺りにあるのではないだろうか。

ガンジーについて、「寡黙・陰気」のイメージを抱く人が多いが、ネルーは

この点を懸念し、著「自叙伝」でガンジーの人となり、「彼の微笑は人の心を楽しくし、彼の笑いは人をつり込ませる。そして彼の身边には、快活さがまき散らされている」と記している。太平洋戦争が始まった直後、多くの在印日本人がインドで抑留されたが、その中にボンベイ日本山妙法寺の僧侶：行啓師と共同通信の記者：蠟山芳郎がいた。その行啓師が蠟山芳郎の前で、ワルダのアシュラム（道場）で長い間ガンジーと暮らしていたことを思い出し、「ガンジーという人は、非常にゆきとどいた心配りをする人で、人間味のあふれたじいさんだった」と回顧している。

いうまでもないが、ガンジーとて完璧な人間ではなかった。彼の信条・行動規範に対し、政界・産業界そして家族から批判が少なからずあったことを付記しておきたい。J. ネルー、第二次世界大戦前後のインドの二大財閥；タタ・ビルラのトップは、ガンジーが農民の貧困救済の手段として推奨した手織布地運動（カーデイ、手動の織機で木綿の織布を織る）は、前産業時代への逆行であるとして、手厳しい批判を浴びせている。また、子ども（4人）の教育の在り方についても議論が別れた。高齢化と共に政策決定にぶれが出てきた。しかし、ガンジーは、人間は完璧でないとして、以下の言葉を残している。

Freedom is not worth having it
if it does not include the freedom to make mistakes.

6. ガンジーがインド社会に残した遺産

ガンジーの“遺産”は我々の想像を超える範囲に及んでいる。その一端を披歴する。

● インド憲法：

1950年1月に施行されたインド憲法は、カースト、宗派、地域、階層、性、人種、言語の代表者が集い、三年かけて、喧々諤々の議論を経て完成した395カ条から構成される世界最長の憲法である。**ガンジーが生涯にわたり闘い求めた“すべての国民に保障される基本的権利”—Justice, Liberty, Equality, Fraternity（正義、自由、平等、友愛）—が憲法のヴィジョンにうたわれている**。憲法の施行から70年近い歳月が経過するが、今尚、インドは“ヴィジョン”の実現に向けて歩み続けている。その過程に現れる矛盾・障害物を取り除くために、既に100回以上、憲法は修正された。

国家ヴィジョンそしてガンジーの信条がインド社会でどのように浸透していったのか、一例を記す。

● 歴代の首相がガンジーから学んだ学習効果：一例を挙げる

J. ネルー（首相在任期間 1947年～1964年）

ガンジーの公民権保護・独立運動に共鳴、ガンジーと行動を共にする。独立後、インド初代首相に就任。自らも委員の一員として参加する“憲

法起草委員会”の委員長に不可触民からアンベドカール法務大臣を選別、同氏指揮のもとに世界最高級の憲法草案をまとめる。J. ガンジーが生涯を捧げた平等な社会の実現に向けて、全力投球、首相在任中、汚職が大幅に削減した。

マンモハン・シン（首相在任期間 2004 年～2014 年）

The Economist が社説でマンモハン・シンを Integrity を備えた首相と評価、オバマ大統領が大統領在任中、最も尊敬した国家指導者。ガンジーと同じく公職に絡む私財蓄財からほど遠い存在であった。

ナレンドラ・モディ（2014 年～現在）

最下層カースト出身、ガンジーを尊敬、汚職撲滅と大胆な改革に挑んでいる。

- 低カースト・アウトカーストに留保されている上級官僚職 (Indian Civil Service & Indian Foreign Service) の採用枠：

26.5% for other (socially and educationally) backward classes

15.0% for scheduled classes （アウトカースト）

7.5% for scheduled tribes （アウトカースト）

一例を挙げると、外務省職員の全体採用枠の 49%が、低カースト・アウトカースト出身である。このお蔭で多数の職員が現在、大使に昇格・活躍している。

- 国営企業、国公立大学の採用・入学枠：

官僚の採用基準と同じく、国営企業、国公立大学でも低カースト・アウトカーストに対する留保枠が定められている。（通常、25%前後、一部の国立大学 49%）

- 官主導の官僚天下り：

官主導の官僚天下りは、インド（・アメリカ）では禁止されている。公務員に問われるのは、“誰（納税者）に雇われ、誰（納税者）のために働くのか”である。

- インドの企業統治：

インドの産業界にはガンジーを尊敬するリーダーが少なからずいる。かくして、企業統治にガンジーの信条・行動規範（そして憲法のヴィジョン）を反映する企業がある。

例：Infosys Technologies（大手 IT 企業）、同社の Ex CEO Narayana Murthy

- 旺盛な起業家精神

インドには、現状を打破し、新たな道を切り開く起業家精神旺盛な若者が多い。

例：L. N. Mittal, CEO Mittal Steel （世界一の粗鋼メーカー）

ガンジーは事業家ではなかったが、革新的な発想に基づいた社会的事

業を自らも実践した。(例：南アフリカでのトルストイ農場の創設)

● 海外におけるインド人に対する評価

経済・産業のグローバル化が進む現在、海外、特にアメリカにおけるインド人の活躍が顕著になりつつある。米国の代表企業、Microsoft, Google の CEO、(Citibank の前 CEO) はインド生まれのインド人である。個人の才能に加え、ガンジーの行動規範とインド建国の精神に具現化されたインド・ブランドがプラスに作用しているのではなかろうか。業界トップの地位を占めるインド人を参考までに列挙する。

例：CEO：Microsoft, Google, PepsiCo, Nokia

学長：Harvard College, Harvard Business School, Carnegie Mellon University, INSEAD, The University of California, San Diego.

Amartya Sen アジア最初のノーベル経済学賞受賞者

(この項終わり)

天のわざ、地のほまれ

—地球を測れ、宇宙をはかれ—

伊那 闊歩

24. 役に立つ微分法と積分法 — その 4.

地球上、ある場所の位置を知りたいとき、たとえば、東京都庁の位置がどこにあるか知りたいとき、インターネットで調べればすぐに [北緯 35 度 41 分 22.4 秒、東経 139 度 41 分 30.2 秒] であることがわかる。便利な世の中になったものである。

緯度 0 度の緯線は赤道そのものである。赤道を 0 度として赤道と平行に地球を輪切りにし (もちろん仮想上のはなし)、北極を北緯 90 度、南極を南緯 90 度として緯線を定める。一方北極と南極とを結ぶ地表の半円を経線といい、英国のグリニッジ天文台をとおり経線 (本初子午線) の経度を 0 度とする。そのちょうど裏側 (少し凸凹しているが) の経線が日付変更線となる。

経度 0 の経線から東まわりに 180 度、日付変更線までを東経といい、西周りに日付変更線までを西経という。なお、経度、緯度とも 0 度の場所は、アフリカ、ギネア湾内ガボンの西方 1078 km、ガーナの南方 611 km の海上にある。このような位置の決め方は、月や火星などの天体にたいしても、もうすぐで行われている。

地上にかぎらず平面上の位置は、2 つの座標成分を指定することによって一意的にきまる。座標 (デカルト (1596-1650) による) 平面上の点の位置は通常 x 成分と y 成分によって (x, y) と書く。座標は 2 次元の数または 2 次元のベクトルとして表せる。地球のような曲面-ではない平面上では原点 0 ($0, 0$) と (x, y) との間の距離 R は三平方の定理によって $R =$

$\sqrt{x^2+y^2}$ とかける。x 軸と R の間の角を θ と書けば、三角関数： $\cos \theta = x/R, \sin \theta = y/R$ ($\tan \theta = \sin \theta / \cos \theta = y/x$) を用いて (fig.1)

$$(x, y) = (R \cos \theta, R \sin \theta) \quad \text{と}$$

も書ける。座標は原点からの距離 R、そして R と x 軸との間の角 θ を指定すれば一意的にきまる。同じ内容をベクトル記号 $\vec{R}$ を使って表すこともできる。平面上では $\vec{R} = (x, y)$ は 2 次元ベクトルである。普通の座標平面の x 軸はそのままとして y 軸を虚数にとれば、(ガウス (1777-1855) による) 複素平面が得られて、複素平面上の点 P はひとつの複素数 (fig.2) :

$$P = x + iy = R \cos \theta + i R \sin \theta = R(\cos \theta + i \sin \theta)$$

として表すことができる。i は虚数単位とよばれ $i^2 = -1, (\sqrt{-1} = i)$ 。

通常の数単位 1 と虚数単位 i とは、あたかも水と油のようにそのままでは決して混じりあわないので、お互いに別々の単位としての役割をはたし、平面上の点をひとつの複素数に対応させることができるのだ。三角関数とその性質についてはあらためて考えるが、まず角度の測り方について注意しておこう。実用的には、昔から 60 進法で度、分、秒によって角度を指定することに慣れているが、数学ではラジアンで測る。つまり、半径 R の円で、半径と同じ R の長さを持つ弧にたいする中心角を 1 ラジアン と定めるのである。すると、 $180 \text{ 度} = \pi \text{ ラジアン}$ となる (fig.3)。 $\pi (= 3.14159 \dots)$ は円周率である。

$$1 \text{ ラジアン} = 57.2958 \dots \text{ 度}, \quad 3.14159 \dots \text{ ラジアン} (= \pi) = 180$$

度

これは単なる角度のスケール変換であるが、こうしておくと色々便利なのだ。sin と cos は周期 2π の、tan は周期 π の周期関数である。また、

$$\sin(-\theta) = -\sin \theta, \quad \cos(-\theta) = \cos \theta, \quad \tan(-\theta) = -\tan \theta$$

$$\sin(\theta + \pi) = -\sin \theta, \cos(\theta + \pi) = -\cos \theta$$

$$\sin(\theta + \frac{\pi}{2}) = \cos \theta, \cos(\theta + \frac{\pi}{2}) = -\sin \theta, \tan(\theta + \frac{\pi}{2}) = -\frac{1}{\tan \theta}$$

などの等式がなりたつことを確認しておいていただきたい。

アイザック・ニュートン（1642-1727）やゴットフリート・ライプニッツ（1648-1719）など微積分法を発見し開発した先駆者なきあと、数学はさらに発展しつづけた。18 世紀中葉には、かれらの後を継いで、ヨハン、ヤコブ、ダニエルなどベルヌーイ一族のほか多くの才能ある数学者たちが活躍したのである。中でもスイス生まれの数学者レオンハルト・オイラー（1717-1783）は、その研究の質、量とも傑出した存在であった。かれが発見した次の公式：

$$e^{i\theta} = \cos \theta + i \sin \theta$$

(*)

はオイラーの公式としてたいへん有名である。ここで、この左辺は指数関数である。 $e (= 2.71828\cdots)$ は例のネイピア数、その肩には（角度 θ に虚数単位 i がかかって）虚数 $i\theta$ が乗っている。 $e^{i\theta}$ はそれこそわけのわからない数式であるが、それをほぐしてみると右辺のように三角関数を実部と虚部にもつ複素数で表現できるというのである。

そもそも指数関数と三角関数とはその発見の起源が異なるため、表向きみかけはまるで異なる。しかし、あろうことか、裏庭（複素平面）では繋がっていたのである。つまり、ひとは、指数関数と三角関数の関係など知らず、ただ便利であるから使っていたのだが、じつは親戚同士であったことが判明したのである。その結果、この公式によって指数関数の簡単な法則を使って、三角関数の複雑な公式すべてを導きだすことができるのだ（「サインコサイン眺むればタンジェントして涙流るる」ことはなくなる！）。

数学にはときどきこのようなサプライズが起きる。しかも、得られた獲物はたいへん美しい。それは、ベルサイユ宮殿のような絢爛豪華な光に包まれたものとは違うが、まさに数学の神秘を垣間見せてくれる凄みさえ感じさせる美しさなのだ。そのような中で、オイラーの公式は最高に位置する公式であると言われている。

オイラーの公式の証明には若干手間がかかるので、厳密さは別にしてその概要だけを述べておきたい。まず、(*)の左辺は複素数であるから

、 $x + iy$ というかたちに書けるはずだ。

これにその（ i を $-i$ とする）複素共役 $x - iy$ をかければ $(x+iy)(x-iy) = x^2 + y^2$ となってこれはこの複素数の大きさの 2 乗になっている。とこ

ろで(*)の左辺の複素共役は、 i を $-i$ に変えて $e^{-i\theta}$ であるからこれを $e^{i\theta}$ にかければ $e^{i\theta} \times e^{-i\theta} = e^0 = 1$ となって、 $e^{i\theta}$ の大きさは 1 であることがわかる。

θ は角度なので、 $e^{i\theta}$ は大きさ 1 のベクトルが原点を中心とした円上にあるというイメージが得られる (fig. 2)。そこで(*)の右辺は、その共役をかけると三角関数のよく知られた公式によって

$$(\cos\theta + i \sin\theta)(\cos\theta - i \sin\theta) = \cos^2\theta + \sin^2\theta = 1$$

となりやはり大きさは 1 のベクトルが原点のまわりを三角関数の法則にしたがってグルグルまわっているイメージをもっていただけたらと思う。

オイラーの公式(*)がどれほど凄いパワーを発揮するか試してみよう。角度が θ のものとそれを φ (ファイ)にかえたものをかけあわせてみる：

$$\begin{aligned} e^{i\theta} \times e^{i\varphi} &= (\cos\theta + i \sin\theta)(\cos\varphi + i \sin\varphi) \\ &= \cos\theta \cos\varphi - \sin\theta \sin\varphi + i(\sin\theta \cos\varphi + \cos\theta \sin\varphi) \end{aligned}$$

この左辺は

$$e^{i\theta} \times e^{i\varphi} = e^{i\theta+i\varphi} = e^{i(\theta+\varphi)} = \cos(\theta+\varphi) + i \sin(\theta+\varphi)$$

であるから辺々くらべて (実数部分=実数部分、虚数部分=虚数部分として)

$$\sin(\theta+\varphi) = \sin\theta \cos\varphi + \cos\theta \sin\varphi$$

$$\cos(\theta+\varphi) = \cos\theta \cos\varphi - \sin\theta \sin\varphi$$

このふたつを割り算して

$$\tan(\theta+\varphi) = \frac{\sin(\theta+\varphi)}{\cos(\theta+\varphi)} = \frac{\tan\theta+\tan\varphi}{1-\tan\theta \tan\varphi}$$

などが得られる。これは加法定理とよばれる公式である。+と-をとりかえれば、差の公式がえられる。 $\theta = \varphi$ ととれば 2 倍角の公式が得られる：

$$\sin 2\theta = 2 \sin\theta \cos\theta$$

$$\cos 2\theta = \cos^2\theta - \sin^2\theta = 2 \cos^2\theta - 1 = 1 - 2 \sin^2\theta$$

$e^{i\theta}$ を n 個かけあわせれば、次のド・モアブルの公式がいとも簡単に導かれる

$$\cos n\theta + i \sin n\theta = (\cos\theta + i \sin\theta)^n$$

$e^{i\theta}$ を θ で微分すれば $i e^{i\theta}$ であるから (OK?)

$$\frac{d}{d\theta} (\cos\theta + i \sin\theta) = i(\cos\theta + i \sin\theta) = -\sin\theta + i\cos\theta$$

これからただちに三角関数の微分の公式が得られる ($\tan\theta$ については後に) :

公式 6. $\frac{d}{d\theta} \cos\theta = -\sin\theta$, $\frac{d}{d\theta} \sin\theta = \cos\theta$, $\frac{d}{d\theta} \tan\theta = \frac{1}{\cos^2\theta}$
--

ここでもうひとつ微分法の公式を追加しておこう。

公式 7. 関数の積と商の微分法

(1) $y = f(x) \cdot g(x)$ ならば、 $\frac{dy}{dx} = \frac{df}{dx} g + f \frac{dg}{dx}$
--

(2) $y = \frac{f(x)}{g(x)}$ のとき $\frac{dy}{dx} = \frac{1}{g^2} \left(\frac{df}{dx} g - f \frac{dg}{dx} \right)$
--

証明の概要は以下の通り :

$$f(x+h)g(x+h) - f(x)g(x) = [f(x+h) - f(x)] g(x+h) + f(x)[g(x+h) - g(x)]$$

変形できるから [] の中身を h で割って極限をとれば公式 7 (1) を得る。

割り算の微分の公式 (2) の証明は下記のとおりである :

$$\frac{f(x+h)}{g(x+h)} - \frac{f(x)}{g(x)} = \frac{f(x+h)g(x) - f(x)g(x+h)}{g(x+h)g(x)}$$

この分子を次のように書き換える :

$$f(x+h)g(x) - f(x)g(x+h) = [f(x+h) - f(x)] g(x) - f(x) [g(x+h) - g(x)]$$

これを h で割り算して $h \rightarrow 0$ とすれば、分子は $\frac{df}{dx} g - f \frac{dg}{dx}$ となり、分母は g^2 となる。 公式 7 の (2) は次のように使う : $y = \frac{\sin\theta}{\cos\theta} = \tan\theta$ のとき

$$\frac{dy}{d\theta} = \frac{1}{\cos^2\theta} \left(\frac{d\sin\theta}{d\theta} \cos\theta - \sin\theta \frac{d\cos\theta}{d\theta} \right) = \frac{1}{\cos^2\theta} = 1 + \tan^2\theta$$

三角関数の微分の公式 6 に対応して不定積分の公式も記しておこう :

公式 8. $\int \cos \theta \, d\theta = \sin \theta$, $\int \sin \theta \, d\theta = -\cos \theta$, $\int \tan \theta \, d\theta = -\ln \cos \theta$

以上、三角関数の（わずらわしく見える）公式は、微分積分も含めて、すべてオイラーの公式を使って導きだすことができる。三角関数の公式は記憶する必要はない。ただオイラーの公式を覚えておくだけで良いのだ。

最後に、オイラーの公式において $\theta = \pi$ とおいてみる。

$\cos \pi = -1$, $\sin \pi = 0$ であるから、 $e^{i\pi} = \cos \pi + i \sin \pi = -1$,つまり

$$e^{i\pi} + 1 = 0$$

と書きなおしてみれば、これは驚くべき等式であることがわかる。この等式のなかには、加減、乗除演算の単位元 0 および 1 と虚数単位 i のほか

に、数学で最も重要なふたつの定数 — 円周率 π とネイピア数 e — が含まれており、それらが寄木細工のように小さく無駄なく纏まっているのだ。オイラーの等式として知られるこの数式は、まさに「至高の等式」として有名である。

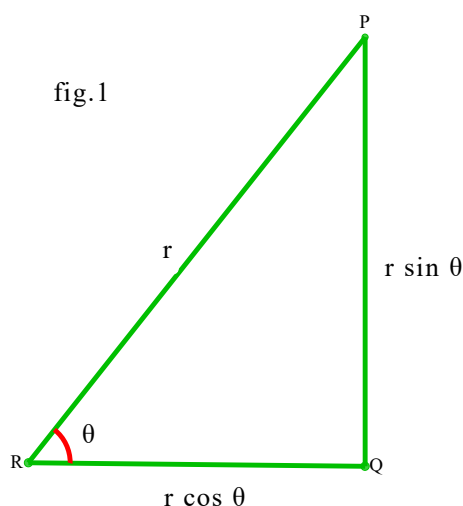


fig.2

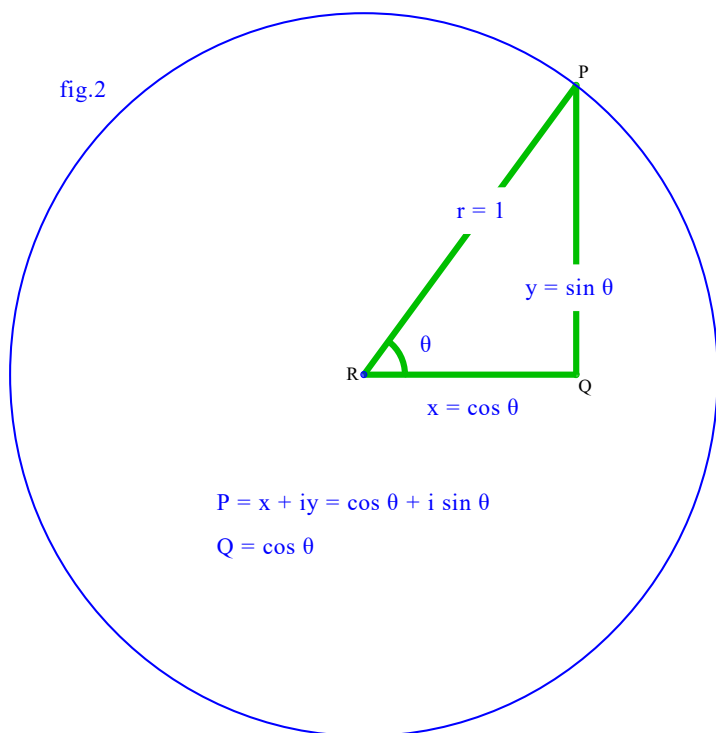
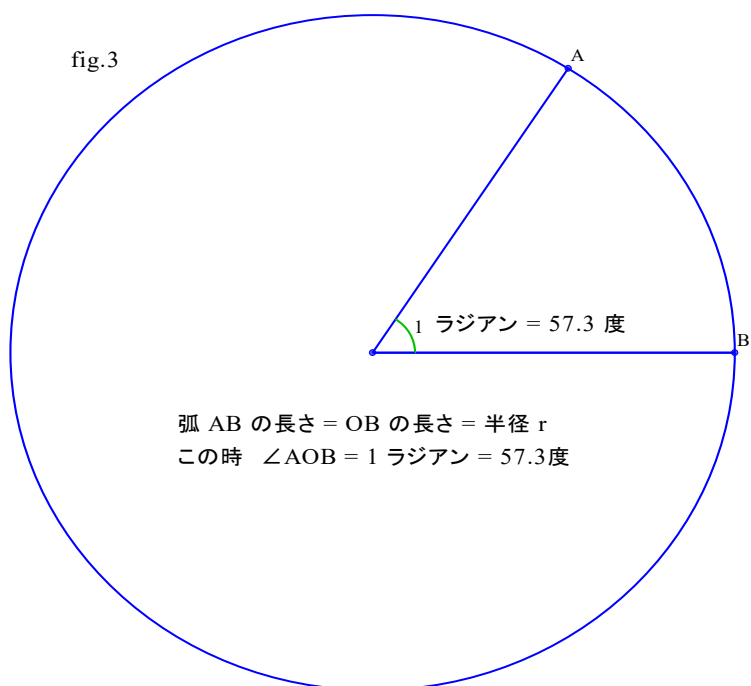


fig.3



洛中の洛外 １・吉野と南北朝（その２）

東南院と言えば世界文化遺産にも登録された大峰奥駈修行が有名です。吉野山から熊野本宮までの峰駈けです。東南院を出て下り坂を行くと、両側に商店が並び旅館もあって、桜を楽しむ人数も急に増えて、賑わいを見せてきました。「金峯山蔵王堂」が一段高いところに見えています。蔵王堂は本堂の名称です。正式な寺名は「金峯山寺」と書いて「きんぷせんじ」と呼びます。金峯山蔵王堂は俗称です。

旅人が入山した門口は、本来の「二王門」とは反対方向でした。正式な入山口はゲートルカー（この名称も俗称で、正式には「吉野大峰ゲートルカー自動車です」）の吉野山駅を降りるか、路線バスで駅前で降りるかして、坂道を上がって、長い石段のある北向の門を潜って「金峯山寺」に参拝するのが正式な順路です。

境内には中千本と中心地に相応しく、多くの桜樹が植えられて、満開の桜を眺める人々の笑顔で満ちていました。

余談です。境内に入って旅人は「金峯山蔵王堂」を正面にしています。ある疑問を抱きました。何故に本堂は南向き、正門である二王門が北面に向いているのだろうか？これには深い理由がありました。吉野から熊野本宮（北から南）に向かう巡礼者には「金峯山蔵王堂」を、熊野本宮から吉野に向かって来る巡礼者は「仁王門」を正面として考慮したことに依ります。しかも吉野の「金峯山蔵王堂」と熊野本宮とが一体であったことも知りました。

「金峯山蔵王堂」の本堂を見上げています。奈良東大寺にも決して引けを取らない程の巨大な木造建築物です。本堂内には巨大な三体のご本尊が安置されているとのこと。（蔵王権現は秘仏、普段は拝観不可。写真で見る限り、体は極彩色で顔は青で彩られ憤怒の形相）

「蔵王堂」は山上ヶ岳の大峰山寺本堂（山上の「蔵王堂」）に対して、山下の「蔵山堂」と呼ばれてきました。屋根は入母屋造の檜皮葺で、純日本式の建築様式を踏襲しています。巨大な木造建築を見上げると、二階建ての様に見えますが、構造的には「一重裳階付」の様式で一階建てです。高さ 34m・奥行間口共に 36m あり、現存する古建造物では東大寺大仏殿と双壁を成しています。

堂内に入って驚きました。建物を支える重要な柱がなんと湾曲していました。重量のある屋根全山を支えるためには、強度を増すために意図的に適度に湾曲した自然木を柱として用いていました。しかも木材の種類を知って驚きました。檜でも樺でも松でもありません。想像も出来なかったツツジ、梨（日本の中部以西に自生）、チャンチン（香椿・センダン科の落葉高木・中国産・樹高 10m）と言う種類の樹木が建材として用いられていました。吉野山に自生していた樹木であったことも考えられます。

内陣には巨大な厨子が中央に置かれてありましたが、扉は閉じられたまま

で、秘仏の蔵王像は目にすることはできませんでした。蔵王堂は豊臣家の寄進で修復されたと聞きました。

先人の職人たちの賢い知恵に驚かされます。鰐口や風鐸に銘を残して、建築したり再建されたりした時代を情報として遺してくれています。「蔵王堂」に用いられている金具の銘には、天正 19 年（1592 年）と刻まれています。この時期以降に改修工事が行われたことを知りました。

本堂前は、善男善女で賑わっていました。境内の一角に石柵に囲まれて「四本の桜樹」が咲いていました。大勢の人々が満開の桜に魅入っています。何故に境内に「四本の桜樹」がうえられているのか？興味を持ちました。傍の説明文で理由を知りました。元弘 3 年(1333 年)のことです。北条軍に攻め込まれた大塔宮護良親王が、降伏を前にして宴を開いた処であったことを知りました。悲しい歴史秘話です。美しい桜樹で全山が飾られていますが、色の濃い八重桜は、この地で血を流した敗者たちが、霊と化した姿に見えてなりません。同じ柵内にある銅灯籠にも銘があります。文明 4 年(1471 年)で歴史の風雪に耐えてきた灯籠の姿です。

2016 年春に、四度目の吉野山に訪れました。この時は幸いに金峯山寺のご本尊「金剛蔵王大権現」の特別開帳と「花供懺法会」が行われていた日でした。僥幸に恵まれました。特別料金を支払って本堂に上がりました。驚いたことに、見上げるばかりの巨大な極彩色の仏像三体に迎えられました。身丈 7m もあり青取られた憤怒の形相は、恰も三体とも不動明王か閻魔大王の御姿でした。金剛蔵王大権現の形相に驚いた旅人は、本堂の脇に控えていた僧侶に思わず質問していました。僧侶からは、想像だにしなかった答えが返ってきました。

三体の金剛蔵王大権現は、ご本尊と脇侍の関係で無く、それぞれが独立して中尊・右尊・左尊と呼ばれ、この形状からは全く想像のできない仏像でした。中尊が釈迦如来・右尊が千手観音・左尊は弥勒菩薩です。再び見上げて祈りました。僧侶に本来の形状をした仏像と似ても似つかない理由を再び問いました。

余談です。金剛蔵王大権現の「権現」とは、権（仮り）に現れる意味です。本地仏の釈迦如来（過去世）千手観音（現在世）弥勒菩薩（未来世）が権化され、過去・現在・未来の三世にわたる衆生の救済を誓願され出現されました。「金剛蔵王」とは金剛界と胎蔵界の世界を表現します。

この三体の仏像が造仏されたのは定かではありませんが、金峯山寺の開基行者役小角が関わっているとも伝えられています。何れにしても白鳳年間にまで遡るようです。

当時の世相は決して良くはありませんでした。どちらかと言えば飢饉や病苦に見舞われ、厳しい暮らしで虐げられていた人々が救いを求めました。行者役小角は、人々が求めているのは慈悲深い尊顔の仏では無く、病苦を救ってくれる仏であることを悟り、この憤怒の形相の金剛蔵王大権現が桜木に刻んだことに由来して、後に形状が伝承されて造仏されたという答えでした。

旅人のがんは完治しないと宣告されていますが、一日でも延命できることを願い手を合わせました。三体のご本尊の背後の須弥壇には、旅人が普段か

ら馴染んでいる仏像が安置されていました。

本堂の広縁に出ると、裏門の方角から威勢の良い“掛け声”が聞こえてきました。花供懺法会が始まっていました。花供懺法会とは金剛山寺花供会式とも呼ばれ、吉野山全山が桜で美しく彩られる時期の法会です。吉野山の桜を金剛蔵王大権現に奉納する儀式で、役小角が感得した蔵王権現を桜の木に刻んだことから、吉野山では桜が神木になりました。

この法会は 10 万石格式を持つ奴行列を先頭に、一山僧侶・山伏・信徒の長い列が参道から本堂に姿を現しました。先頭に行く奴行列の足捌きはユニークで、恰も踊を見ている様でした。本堂で法要を終えると、境内で杉葉を山伏にした護摩を焚いて終わりました。境内一円に焼いた杉葉の煙と匂いが何時までも漂っていました。

境内から北に開いている「二王門」が、金峰山寺の本来の山門です。「二王門」は「仁王門」とも書きます。現在は修理工事で山門全体が足場に囲まれ、黒い布で覆われていますが、入母屋造の本瓦葺の二重門（二重門とは、二階建ての門で、一階と二階の間に屋根が造られている）の姿見られる筈です。

「仁王門」には像高 5m の仁王像が安置されています。仏師は康成。延元 4 年（1339 年）です。南北朝の動乱が始まって間もなくで、しかも同年に、南北の旗頭・後醍醐天皇が亡くなっています。因みに後醍醐天皇の御陵は、奥千本の地・如意輪寺にあります。軒先を飾っている風鐸に銘が遺されていて、仁王門の建造年代が推測できます。仁王像の造仏に先立つ室町年間の康正 2 年（1456 年）であることが判明しています。

仁王門の石段を下りて、前方を進むと坂道の先に「銅鳥居（かねのとりい）」が姿を現してきました。

余談です。銅鳥居は奈良大仏の鑄造した銅材の余りで造られたと伝えられています。現存する鳥居は室町時代に再建されたものですが、銅材は奈良時代の再利用したと言っても否定は難しくありません。鳥居と言っても支える台は蓮台です。神仏混合時代の名残でしょうか。吉野山の歴史の重みを感じさせてます。

「金峰山寺」の総門である「黒門（黒塗りの高麗門）」が、鳥居の先の旅館・飲食店・土産物が店が並ぶ間に見えてきました。この黒門から坂の上が浄地です。俗地と浄地を分ける結界の役割を果たしている門に違いありません。この地から中千本から辿ってきた道を振り返ると、大峰山（山上ヶ岳）まで修業に向かう行者路になっています。

修行路には 4 つの門があります。順に「発心門」から「修行門」「等覚門」「妙覚門」で悟りまで至る過程を表現しています。「黒門」が「発心門」です。

桜見物の人々が絶え間なく黒門を通り抜けて上がっていききました。朝早く京都を立ってきたので空腹を感じてきました。これから七曲りを下り、下千本の桜を見る予定です。「黒門」前に‘うどん亭花屋’で早い昼食にしました。薄味で美味しい’三輪そうめん‘でした。下千本の桜の花に酔い、ビールにも酔って、気分も良く、心地も良く七曲りの九十九折の坂道を悦子に支えてもらい駅まで下って行きました。駅前の売店のおばちゃんに立ち寄り、中千本桜の美しいのお礼を言い、買ったビールと’裂きイカ’のツマミを手にして、近鉄吉野線に乗り込み京都に向かいました。

突然睡魔が襲ってきました。夢を見えています。平安京で最後に怨霊に化して
暴れ、祟りとして起こした南北動乱の真の主人公・後醍醐天皇の果たせぬ夢
を語らないでは。平安京の隠れたテーマ・怨霊譚は終われません。(つづく)

般若心経読本（８）

藤田 克明

〔仏設摩訶（ぶっせつまか）〕

般若波羅蜜多心経（はんにゃはらみったしんぎょう） 唐三蔵法師玄奘 訳

三世諸仏 依般若波羅蜜多故（えはんにゃはらみったこ） 得阿耨多羅三藐
三菩提（とくあのかたらさんみゃくさんぼだい）

（三世の諸仏も、般若波羅蜜多に依るが故に、阿耨多羅三藐三菩提を得たも
う。）

【訳】 この世のすべての仏は、般若波羅蜜多のおかげで無上の悟りを得られ
た。

【解説】

一、

過去、現在、未来のあらゆる仏は、般若波羅蜜多を体得して（悟って）、そ
れによって仏陀になれました。智慧 とは物事を正しく判断する智慧のこと
で何ものにも捉 とら われない心です。仏の悟りは普遍性を持っているの
で、 時間、空間を超えてすべての人が正しい悟りを得ることができ、また
「一切衆生悉有仏性」（『般若経』）と いわれるように我々は誰でも仏性を持
っているので、一生懸命波羅蜜多を行じたら必ず仏になれますと仏の約 束
をここに示しています。

この段で起承転結の「転」が終り『般若心経』の説くすべての教えが終りま
す。なお、この段は最初の段「観自在～」一観音は般若の智慧を磨いて、一
切は「空」だということを体得されたのちに、衆生のあらゆる悩み苦しみを
救われた一の部分に照応しています。

二、

「阿耨多羅（あのかたら）」はサンスクリット語の「アヌッタラ・anuttara」
の音写語で、「アヌ」（ない）と「ウッタラ」（上） で「この上ない」の意に
なります。そして、「三藐（さんみゃく）」は「サミヤク・samyak」の音写語
で「正しい」、「三菩提（さんぼだい）」は、同「サムボードヒ・sambo dhih」
の音写語で「サム」（完全な）と「ボードヒ」（悟り）ということで、「阿耨多
羅三藐三菩提」は「この上ない正しい悟り」（注 24 ）となり、仏の智慧をい
います。したがって右の「三世諸仏～三菩提」は、過去、現在、未来を永遠
に生きつづける仏たちは一「空」の世界に生きて反対給付を求め ない智慧を

追及していたので—この上ない真実の智慧を得ることができたとなります。なお「三菩提」は、三種の仏がいるということではなく（私たちと違って）仏は常に在すということです。仏教では三という字を好んで使っていますが無限とか永遠の意です。「三世諸仏 依般若波羅蜜多故」（仏たちは、仏の智慧によって仏の国へ行こうと努力を続けているので）が条件で「阿耨多羅三藐三菩提」（仏の悟りを得られた）が結果です。釈迦（ブッダ）（覚者）になる鍵は「般若波羅蜜多」であるというのが『般若心経』です。

大乘仏教では、釈迦仏教において仏になるエネルギーとして利用できない世俗的善行（般若経を唱えること）を、いろいろな方面、領域での力（廻向）にできるようにしています。そして善行のなかでも最も効果の高い行為は『般若経』を心底から敬う行為であるとして「掲諦（ぎやてい） 掲諦（ぎやてい）」（後出）という呪文を唱えることだと結論づけています。

〔注 24〕

大乘仏教のいう「阿耨多羅三藐三菩提（あのくたらさんみゃくさんぼだい）」（この上ない正しい悟り）には、一体どのようにして到達するとしているのか。悟りは、解脱とも涅槃ともほぼ同義であるが、釈迦仏教では悟りの内容は「四諦八正道」として体系化されていることは既述の通りである。即ち、この世界を苦と見（苦諦）、その原因を追究すると無明であるということが分り（集諦（じったい））、無明の滅により苦が減ぜられることを知り（滅諦（めったい））、その滅（めつ）にいたる方法として八正道（はっしょうどう）（道諦（どうたい））が示されていた。このように悟りへの道は、知的かつ体系的に整備されており八正道の実践を通して初めて体得できると説かれている。しかし大乘仏教では、六波羅蜜多を実践すれば悟りに至ることができるという。それは次のことから窺える。悟りを求める実践者は菩提薩埵（ボデイサットバ・bodhisattva）と呼ばれており、字源的にみても菩提薩埵は悟り（bodhi）を求める衆生（sattva・薩埵）という解釈ができる。その菩薩が悟りに至る修行プロセスには、自利より利他重視の精神が説かれ、菩提心（ボデイチッタ・bodhi-citta）—悟りを得たいと願う心（本願（ほんがん））が原点であるとしている。

大乘仏教者たちは、釈迦仏教の悟りの概念（自利）は小さく劣っている（小乗）として、自らは大きな乗りもの（大乘）と名乗り、悟りの概念を自利優先から利他優先へと変えている。その原点には八正道には無い「布施（ふせ）」と「忍辱（にんにく）」という社会的貢献項目がある。

六波羅蜜多は大乘仏教において菩薩に課せられた六種の実践徳目で、

- ① 布施（財施、法施—真理を教える、無畏施（むいせ）—恐怖を除き、安心を与えること）、
- ② 持戒（戒律をまもること）、
- ③ 忍辱（外部からの侮辱や迫害に 耐え、怒りの心をおこさせないこと）、
- ④ 精進（たゆまず仏道を実践すること）、
- ⑤ 禅定（瞑想により精神を統一させること）、
- ⑥ 智慧（真理をみきわめ、悟りを完成させる智慧）をいう。

①～⑤（五波羅蜜多）は、⑥の智慧（般若）を得るための準備手段として要請されている条件といえる。

文化講座・講演会・美術展

奈良興福寺文化講座 2017年5月18日(木曜日)

午後5時半～6時半：第一講

講演：「興福寺の寺宝と畠中光享展によせて」

興福寺境内管理室次長 多川文彦

午後6時40分～7時・・・心を静める

午後7時～8時：第二講

連続講話・「奈良・祈り・心」

興福寺 貫首 多川俊映

会場：(学)文化学園 文化服装学院内

受講料：500円 先着200名

(JR新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から徒歩8分、都営新宿線新宿駅3分)

第82回 新三木会講演会のご案内

1、日時・会場 2017年5月18日(木)13:00～15:00

如水会館(2F)・スターホール

2、演題・講師 『新興国・ブラジル、その変遷と日伯交流』

堀坂浩太郎氏 上智大学名誉教授

栗田政彦氏 日伯経済文化協会副理事長

3、申込・会費 E/Mail: shinsanmokukai@gmail.com

TEL: 047-464-4063

フルネーム・卒年・所属 (例:一般・紹介者名)

会費:2000円 婦人1000円 学生無料

茶話会:15:15-14:20 千円(自由参加)

4、ホームページ

<http://jfn.josuikai.net/circle/shinsanmokukai/>

5、予告

●6/15(木) 第83回 佐藤勝彦氏 宇宙物理学者・東京大学名誉教授
『宇宙はいかに始まったか?』

●7/20(木) , 第84回 浅野純次氏 経済倶楽部理事

石橋湛山記念財団理事 元東洋経済新報社社長

『気骨の自由主義者、石橋湛山回想』

<すどう美術館>

神奈川県大井町でのすどう美術館コレクション展

大井町生涯学習センター開設 30 周年を記念し、4 月 26 日(水)より 5 月 7 日(日)まで 大井町および大井町教育委員会の主催で開催される展覧会です。すどう美術館のコレクションの中から、100 号、120 号の大作を含め 70 点の 作品を展示する予定です。なお会期中、須藤館長の講演、作品解説およびアーティスト朝比奈賢さんによる ワークショップも行われます。

東京銀座「ギャラリー枝香庵」でのすどう美術館コレクション展

石川県の「金沢ひとり美術館」畝一雄さんのご協力により行うすどう美術館のコレクション展で、会期は 6 月 26 日(月)から 7 月 1 日(日)までです。

お知らせとお願い

・立川志らく 立川志らら 「師弟二人だけの落語会」のご案内

すどう美術館に関係の深い志ららさんが師匠の立川志らくさんとの「師弟二人だけの落語会」が 5 月 29 日(月)19:00 より「お江戸上野広小路亭」で開催されます。(前売り 2,000 円 当日 2,500 円) 出席ご希望の方は詳細をお知らせしますのですどう美術館にご照会ください。なお、予約はすどう美術館で一括して直接志ららさんにいたします。

すどう美術館友の会「AQUAクラブ」(会長 堀典子)からのお願い

すどう美術館の活動を支援するためご配慮いただければ幸いです。

(年会費) 3,000 円

(振込先) ゆうちょ銀行 No. 00270-7-97439

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

◆住所が変わりました◆

すどう美術館

〒250-0853

神奈川県小田原市堀之内 110-2 ベルデュール 103

◆電話、メールは変わりありません◆

Tel 0465-36-0740 Fax 0465-36-0739

メール info@sudoh-art.com

ホームページ <http://www.sudoh-art.com>

事務局

<事務所までの道のり>

場所：〒110-0016 台東区台東 2-21-9 双葉ビル 2F 202 号
(電話・FAX 番号：03-3837-0290)

御徒町界限では、JR 山手線・京浜東北線と昭和通りが南北に並行して走っています。

- ① J R 御徒町駅北口を出てすぐ右に折れて、2ブロック直進すると、昭和通りに出ます。右に多慶屋の紫色のビルを見てさらに8ブロックほど直進すると、
- ② 都営大江戸線の新御徒町駅のA2入口が右側にあります。やや進むと（都営大江戸線の新御徒町駅A2入口を出た場合は右に回ると）、佐竹商店街のアーケードがあります。右折してアーケードを7ブロックほど直進すると、佐竹商店街の出口に到達します。そこを右に曲がってしばらく行くと、左側に薄青いビルがあります。（1階は焼肉屋「もとやま」。）そのビルの2階です。

<投稿歓迎><図書のおすすめ依頼>

<プリント版・郵送>

メール版（無料）を月に一回編集してプリント版を発行郵送しています。お申込みくだされば送りします。その際には、実費として1月350円（4200円/年）をいただいておりますのでご了承ください。

<振込先> 三井住友銀行「神田支店」 （普通） 7 8 7 1 5 3 2
（口座名） テンチシニアネットワーク

<配信・郵送、不要の場合はご一報ください、中止いたします。>

天地シニアネットワーク・テーブル・447号

発行：2017年4月28日

：天地シニアネットワーク事務局 （津田 孚人）

〒110-0016 台東区台東2-21-9 双葉ビル2F202号室
TEL・FAX 03-3837-0290
E-Mail tenti@mvc.biglobe.ne.jp